

平成24年2月の結果 再集計結果^(注) (二人以上の世帯)

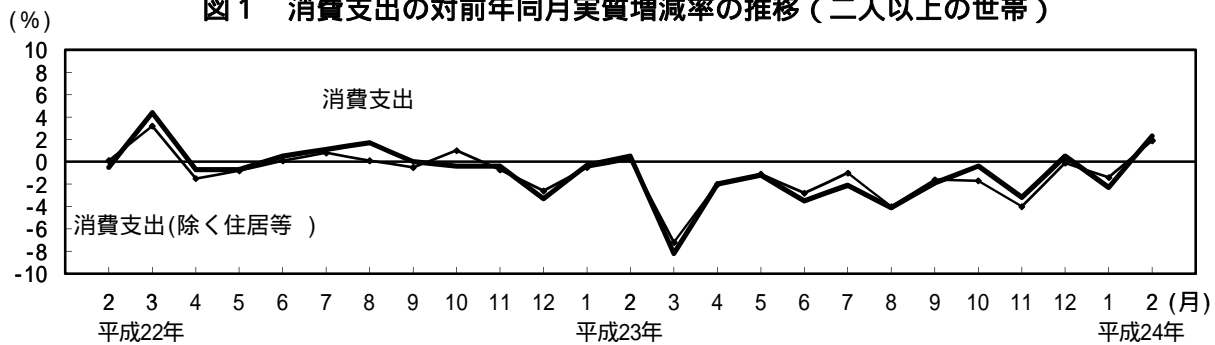
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 267,855 円			
前年同月比	実質 2.3%の増加	前月比(季節調整値)	実質 1.8%の増加
	名目 2.7%の増加		
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 1.9%の増加	前月比(季節調整値)	実質 1.4%の増加
	名目 2.3%の増加		
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質 2.5%の増加	前年同月比	実質 2.8%の増加
	名目 2.9%の増加		名目 3.2%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

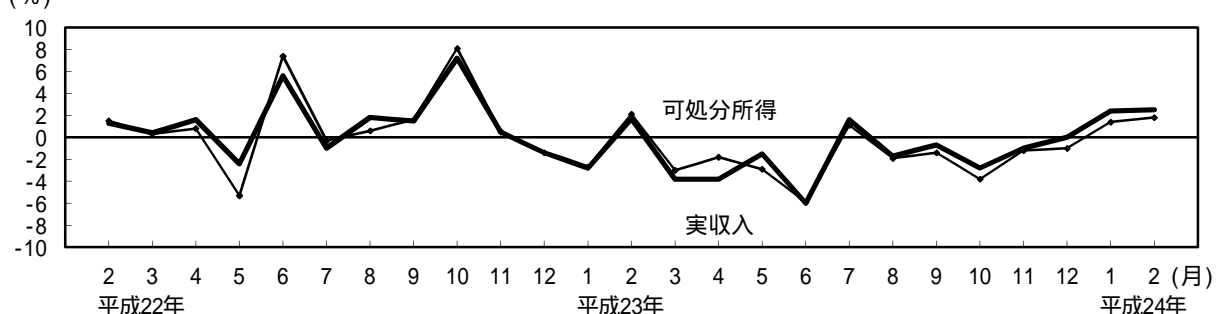
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成23年												平成24年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	0.5	-8.2	-2.0	-1.2	-3.5	-2.1	-4.1	-1.9	-0.4	-3.2	0.5	-2.3	2.3	
消費支出(除く住居等)	0.2	-7.2	-2.0	-1.1	-2.8	-1.0	-4.0	-1.6	-1.7	-4.0	-0.1	-1.4	1.9	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成23年												平成24年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実収入	1.7	-3.8	-3.8	-1.5	-6.0	1.6	-1.7	-0.7	-2.8	-1.0	0.0	2.4	2.5	
可処分所得	2.1	-3.0	-1.8	-2.9	-5.9	1.1	-1.9	-1.4	-3.8	-1.2	-1.0	1.4	1.8	
消費支出	0.0	-10.5	-1.6	-0.3	-3.5	-2.6	-4.7	-2.8	-1.8	-4.1	0.9	-2.9	2.8	
平均消費性向	-1.4	-7.5	0.1	2.5	1.2	-2.5	-2.3	-1.3	1.6	-2.5	0.8	-3.7	0.7	

*：対前年同月ポイント差

(注) 統計調査員による不正事務の発生(詳細は、平成24年4月25日報道発表資料(URL: <http://www.stat.go.jp/data/kakei/pdf/120425.pdf>))に伴う再集計結果である。(平成24年5月29日掲載)

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年2月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	267,855	2.7	2.3	2.3		2か月ぶりの実質増加
食 料	63,331	3.1	2.0	0.48	<増 加> 調理食品,乳卵類など	4か月連続の実質増加
住 居	16,618	1.2	1.4	0.09	<増 加> 設備修繕・維持,家賃地代	2か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	29,894	4.8	0.2	0.02	<増 加> 他の光熱,ガス代	12か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,226	5.5	9.3	0.28	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	3か月連続の実質増加
被服及び履物	8,829	1.3	0.5	0.01	<増 加> 和服,他の被服など	5か月連続の実質増加
保健医療	12,863	5.9	7.2	0.33	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品	4か月ぶりの実質増加
交通・通信	36,132	4.7	3.8	0.50	<増 加> 自動車等関係費,交通など	4か月ぶりの実質増加
教 育	11,140	10.9	10.7	0.41	<増 加> 補習教育,授業料等	2か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	26,143	-3.6	-1.7	-0.18	<減 少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品	7か月連続の実質減少
その他の消費支出	54,680	1.1	(0.7)	(0.14)	<増 加> 仕送り金,諸雑費	2か月ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

諸雑費	[0.66]	葬儀関係費, 婚礼関係費
自動車等関係費	[0.43]	自動車購入, 自動車等関連用品
教養娯楽サービス	[0.38]	国内パック旅行費, 語学月謝
補習教育	[0.26]	幼児・小学校補習教育, 中学校補習教育
保健医療用品・器具	[0.21]	保健用消耗品
家庭用耐久財	[0.16]	電気洗濯機, 電気冷蔵庫
授業料等	[0.16]	私立高校, 幼稚園
調理食品	[0.14]	弁当, すし(弁当)
乳卵類	[0.12]	ヨーグルト, 牛乳

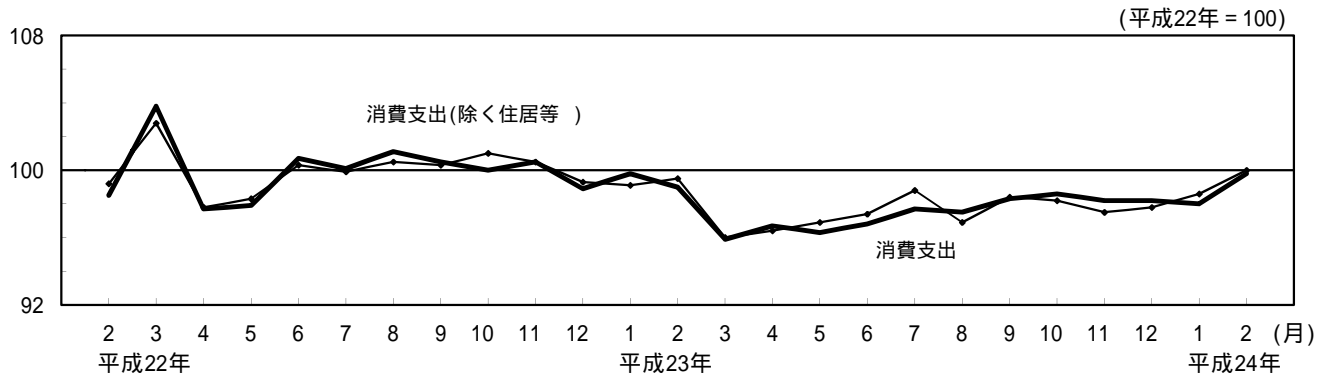
< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.51]	テレビ, ビデオデッキ
交際費	[-0.28]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成23年												平成24年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消 費 支 出	99.0	95.9	96.7	96.3	96.8	97.7	97.5	98.3	98.6	98.2	98.2	98.0	99.8	
対 前 月 変 化 率 (%)	-0.8	-3.1	0.8	-0.4	0.5	0.9	-0.2	0.8	0.3	-0.4	0.0	-0.2	1.8	
消費支出(除く住居等)	99.5	96.0	96.4	96.9	97.4	98.8	96.9	98.4	98.2	97.5	97.8	98.6	100.0	
対 前 月 変 化 率 (%)	0.4	-3.5	0.4	0.5	0.5	1.4	-1.9	1.5	-0.2	-0.7	0.3	0.8	1.4	

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年2月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	483,625	2.9	2.5	2.5	2か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	356,934	3.6	3.2	2.33	2か月連続の実質増加
定 期 収 入	354,224	3.7	3.3	2.37	4か月連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	48,759	5.4	5.0	0.49	3か月連続の実質増加
う ち 女 性	47,763	4.2	3.8	0.37	4か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,390	-3.9	-4.3	-0.08	10か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	77,889	6.3	-	-	3か月連続の増加
可 処 分 所 得	405,735	2.2	1.8	-	2か月連続の実質増加
消 費 支 出	292,825	3.2	2.8	-	2か月ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	72.2	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、72.2%で、前月に比べ、1.5ポイントの低下となった。
		71.5	0.7		